

同窓会報

役員改選

五月三十一日の本校会議室で行われた総会で、第十一代同窓会長鈴木達司様と副会長(田原地区)中神資二様が御退任されました。第十二代会長に粕谷政行様、新副会長に岡本植穂様(田原地区)、井本安生様(渥美地区)が就任されました。鈴木達司様、中神資二様には、在任中は創立六十周年記念事業、姉妹校提携記念碑竣工(除幕式・目録贈呈式・祝賀会)、農業後継者育成の功績による文部科学大臣表彰(記念碑設置)等の大きな節目と次代への飛躍につながる事業等を推進いただき感謝申し上げます。新会長粕谷政行様には、PTA会長、同窓会副会長と本校の教育活動に長年にわたり御支援をいただいております。新副会長岡本植穂様・井本安生様には、PTA会長・役員として本校教育活動に御支援をいただきました。同窓会長・同窓会副会長として引き続き御指導・御支援をいただきますようお願い申し上げます。

また、同窓会長並びに同窓会副会長が兼務される渥美農業高等学校同窓会・PTA国際交流実行委員会委員長並びに役員、渥美農業高等学校農業後継者育成基金会長並びに役員も改選となりました。



同窓会長 粕谷政行

同窓会長挨拶

同窓会員の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、同窓会活動に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびは鈴木達司前会長の御退任に伴い同窓会長という大役を仰せつかりました。鈴木前会長におかれましては、日頃より母校のために多大なるお力添えをいただきました。特に、オランダ

ウエラントカレッジとの姉妹校提携につきましましては、PTA会長時代より協定書調印・交流・姉妹校提携記念碑設置等十五年に渡り様々な功績を残されました。私自身、微力ではございますが、鈴木前会長の後を引き継ぎ同窓会員の皆さんと力をあわせ地域に愛される学校を目指して頑張っていきたいと思っておりますので御協力をお願いいたします。

ところで、最近の生徒達の活躍には目を見張るものがあります。特に、卓球部では、男子団体で昨年に引き続き東海総合体育大会に、陸上競技部では、山下留奈さんが、三段跳びで全国高等学校陸上競技選抜大会に出場を果たしました。これは、不断の地道な努力が実を結んだ成果だと思います。また、昨秋には、農業クラブ全国大会農業情報処理競技会において、パソコン部の平井達也君が、農業クラブ全国大会で、本校としては、十二年ぶりに最優秀賞(全国一位)に輝き農林水産大臣賞を受賞する快挙を成し遂げました。

さて、同窓会員をはじめ地域の皆様への御支援で始まったオランダ王国・ウエラントカレッジとの姉妹校派遣研修も今年で、十六回目となりました。昨年は、予てよりの念願であった姉妹校提携記念碑(一式)・中庭整備(インターロッキング舗装)・石碑銘板を渥美モータース会長鈴木喜玄様、田原産産社長原園義秀様の多大なる御支援のおかげで竣工し、農高祭の折に多くの来賓の方をお迎えし除幕式及び目録贈呈式を盛大に行うことができました。

本年度は、六月一日より六月九日まで、生徒十名と教員二名がオランダに行ってきました。今回は、ホームステイが無くなりましたが、研修先の学校での積極的な生徒間交流やチーズ工場の見学及びチーズ作りやオートメーション化された花卉市場でのフラワーオークションなど体験的な学習を行うことができました。異文化に触れ、多くのことを学んだオランダ姉妹校派遣研修は、世界的な視野と国際感覚を身に付けた地域産業の発展を担う人材を輩出してくれるものと信じております。

最後になりましたが、今後も母校の目覚ましい活躍と発展のため、御支援と御協力をお願いいたします。

発行
愛知県立渥美農業高等学校
同窓会事務局

TEL 0531-2210406
FAX 0531-2216462

校長挨拶



校長 浩志 (23回卒)

同窓生の皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は母校の教育活動に御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本年度総会で、会長鈴木達司様、副会長中神資二様が御退任され、新会長粕谷政行様、新副会長岡本植穂様、新副会長井本安生様が就任されました。鈴木達司様・中神資二様には、同窓会役員その他、同窓会・PTA国際交流実行委員会会長・役員、渥美農業高等学校農業後継者育成基金会長・役員等として、創立六十周年記念事業、姉妹校提携記念碑竣工、本校創立以来の農業後継者育成の功績による文部科学大臣表彰等に格別の御尽力をいただき、本校が次代へ進む大きな礎を残していただきました。その御尽力に深甚より敬意を表し感謝申し上げます。

新会長粕谷政行様、新副会長岡本植穂様・井本安生様には、すでに運動場拡張計画や校外農場の集積計画に御尽力をいただいております。同窓会長・同窓会副会長として引き続き御指導・御支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成二十六年年度が、生徒総数四百七十五名(一学年四学科、四学級、農業・施設園芸・食品科学・生活科学)、教職員(事務職員、非常勤講師・教師を含む)総数七十二名でスタートし、早くも半年が過ぎました。本年度の教育重点目標を、左記の四項目としました。

- 一 生徒一人一人に確かな学力を身につけさせるとともに、進路目標の実現を図る。
- 二 挨拶・身だしなみ・マナーの良し地域を愛し地域から愛される生徒を育てる。
- 三 部活動への積極的参加と競技力の向上を図る。

四 美しい機能的な学びの環境を自ら整え、公共を大切に、愛着を持って環境を作る態度と帰属意識を育てる。

一から三については、前校長鈴木和昭先生の時からの目標を継承してまいります。また今後も引き続き目標として考えてまいります。部活動の成績など、生徒達の努力と先生方の御指導の成果が、はつきり表れています。また、学習環境では、姉妹校提携記念碑設置委員会により中庭の通路をカラー平板舗装にするとともに、姉妹校提携記念碑を設置し美しい環境を整備していただきました。また、清掃活動・夏季休業中の環境整備活動や環境緑化実習などでは、師弟同汗で整備に努めていただいております。生徒達が三年間の農高生活を懸命に取り組んだ成果と想い出が一層強く残る愛着の持てる学校環境を整備することが大切であると考えています。

生徒一人一人の多様な能力を一層伸ばすために、教育活動のあらゆる機会を捉え、厳しくも温かみのある指導を継続していきます。今後も、同窓生の皆様の御理解と御支援をお願いいたします。

「田原市内3高校OBからベンチの寄贈を受ける」

田原市内3高校同窓会のOB役員、現役員・会員有志の皆様には、親睦の会を年一回定期的に行ってこられました。そうした皆様が後輩のためにと御厚志を母校の成章高校、福江高校そして本校に届けていただきました。

本校では、平成25年度に御厚志(10万円)をいただきました。後輩の高校生活が快適になるようにとの思いを受け、ベンチを設置することといたしました。

平成25年度に中庭整備(姉妹校提携記念碑設置、通路カラー平板舗装)を行い、今年度には各種樹木を植栽し緑化を行う中庭や耐震改修が完了した卓球場前通路そして自動販売機設置場所近くにベンチを配置したいと考えています。

生徒が授業後の諸活動を終えて友人を待つ場所として、また談笑する場所等として大切に利用し、皆が心地よく過ごせる公共空間を創造することで、先輩諸氏の厚い思いに答えられたらと思います。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

平成26年度(第16回) 姉妹校派遣研修

- 1 派遣生徒
 - 農業科(3A) 渥美 徹也
 - 施設園芸科(3B) 細田 裕人
 - (2B) 松浦 草太
 - 大場 弘訓
 - 小久保 柁樹
 - 鈴木 嵩史
 - 田替 梨姿
 - 加藤 柚美
 - 加藤 広奈
- 2 引率者
 - 教諭 眞木 郁香
 - 教諭 野々山 翔太
- 3 派遣期間
 - 6月1日(日)～6月9日(月)
- 4 派遣日程
 - ・園芸会社見学
 - ・チーズ工場見学及びチーズ作り
 - ・花卉市場見学
 - ・トマト施設栽培見学
 - ・ユリのオートメーション栽培施設見学
 - ・ガーベラ農場見学

オランダ派遣研修に参加して

3A

渥美 徹也

僕は、日本と文化が全く違うオランダでの派遣研修を通して様々なことを学びました。日本語が通じない国で、なんとか自分の言いたいことを伝えようと思ひ英語で話かけてくれるオランダの人はびっくりと耳を傾けてくれていくうちにオランダの人としっかりと話すことができるんだという自信にも繋がって来ました。フリータイムの時には、近くにいた人に道を聞いて、みんなを行きたい場所へ案内することもできました。また、姉妹校訪問時には自分からコミュニケーションを取りたいことができて、オランダの人と楽しく交流することができました。特に、思い出深いのが姉妹校の生徒達と浜辺で行ったサッカーです。日本人、オランダ人関係なく楽しくサッカーをすることができました。オランダの人はサッカー選手だけではなく普通の人もサッカーがうまかったです。一緒にオランダに行ったら友達と「オランダの人サッカーがうまいね。ワールドカップ期待できるね。」と話していました。次回オランダに行

く機会があればもっと英語を勉強して、たわいない日常会話をオランダの人としてみたいなあと思いました。文化の違いや言葉の壁があっても本心に姉妹校の生徒達と仲良くなれたかはわかりませんが、僕達と変わらない人間であり、お互いに理解しあえるんだということが分かりました。この派遣研修で得た経験を今後の生活に生かしていければと思います。

オランダ派遣研修に参加して

3B

細田 裕人

今回私が、オランダ派遣研修に応募したのは、海外の農業を見てみたいのと高校生活の今しかできないことをやりたかったからです。海外に行くのは初めてでもとても楽しみでしたが、その反面、不安もありました。事前に英語の勉強をしましたがオランダの方の英語の発音が滑らかすぎて、聞き取るのがとても難しかったです。しかし、少しずつ英語を聞き取れるようになってきてコミュニケーションがとれるようになってきました。それから毎日がとても楽しくなりました。初めは海外でたくさんの違いを見つけた。特にチップでした。今回のオランダ派遣ではホームステイがなくなりホテルでの生活となりました。日本のホテルはなにもなく、ベッドメイキングをしてくれますが海外のホテルではチップをおいておきます。最初はいくらわたすのかも全くわからなかったです。最後の方はだんだんと身に付いてきてこれくらいおけば良いとわかりました。

もう一つオランダと日本の農業の違いに、驚きました。まず土地の広さにビックリしました。日本でもフェンロー温室はありますがオランダでは数えきれないほどの無数の温室が連なっていました。今回ガーベラハウスを見学させていただきましたがとてもたくさんの色や種類を栽培していました。

今回、7泊9日間たくさんのお話を学ぶことができました。最初は言葉が通じないこともありましたがコミュニケーションも取れ、はじめて自分から声を掛けられるようになりました。とても貴重な体験になりました。



平成25年度決算書

収入 834,008円
支出 809,971円
差引 24,037円

Table with 4 columns: 項目, 予算額, 決算額, 比較増減. Rows include 繰越金, 入会金, 寄付金, etc.

Table with 6 columns: 項目, 当初予算, 補正予算, 流用増減, 流用後予算, 支出済額, 残額, 摘要. Rows include 会議費, 総会費, 事務局費, etc.

平成25年度 会計監査報告 過日、平成25年度末までの会計監査を実施致しました結果、関係諸帳簿及び領収書等よく整備されており通報等との残高照合したところ、適切に処理されていたので御報告致します。

活躍する部活動

野球部

3A 末吉 航大

僕たち野球部は、3年生12人、2年生7人、1年生15人、マネージャー6人の計40人で活動していました。毎日甲子園という目標に向かって努力してきました。

打って、走って、捕って、投げました。仲間がくじけそうになってもみんな声をかけて支えあひながら練習を積んでいきました。



卓球部

2度の東海大会を経験して 3年B組 長 神 幸 佑

私たちが卓球部は、人間形成と全国大会出場を目標に掲げ、日々練習に取り組んでいます。そうした中で、全国大会には手が届かなくなりました。

1度目は、昨年12月に県大会でギリギリ7位に入り東海選抜に出場できました。しかし、東海選抜はともレベルが高く、他のチームを相手に善戦したものの1勝もすることができずとも悔しい思いをし

生徒の活躍結果

- 陸上競技部: 男子4x100mR 河邊 河通、河邊 貴一、河邊 貴二、河邊 貴三
女子4x100mR 河邊 貴一、河邊 貴二、河邊 貴三、河邊 貴四
女子4x400mR 河邊 貴一、河邊 貴二、河邊 貴三、河邊 貴四



吹奏楽部

21D 渡 會 紗 苗

私たち吹奏楽部は、二年生八人、一年生八人の計十六人で活動しています。人数が少なく、足りない音や楽器もありますが、皆でカバーし合っているのが楽しく演奏しています。